



ボウラーズニュース

Nihon Bowlers Federation 日本ボウラーズ連盟

■発行日/2020年1月27日(日)
 ■発行人/白石雅俊
 ■発行所/日本ボウラーズ連盟
 ☎03 (3295) 7702
 FAX 03 (3295) 5874
 ■編集人/広報委員会
 ■住所/〒101-0064
 東京都千代田区神田猿楽町2-2-6
 畑山第1ビル

ごあいさつ

公益社団法人
 日本ボウリング場協会
 会長 中里 則彦



NBF会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに良き新年をお迎えのこと、弊協会を代表して心からお慶びを申し上げます。

NBF会員の皆様には、平日頃から日協協会メンバーをこぞ愛顧お引立て賜わり、誠にありがとうございます。本紙上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

昨年めでたく米寿を迎え、ますます精力的に活動を続けていらっしやる白石理事長をはじめとする役員・会員皆様方の、平日頃のご努力に対し、改めて敬意を表するものでございます。

ここ近年は、自然災害による被害が多数発生しており、メディアを通してその現場を見るたび本当に胸が痛みます。

一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。さて、ボウリング業界におけるすべての団体が結束し、「新団体「ボウリング機構」(略称:JBO)」を設立して、今年で三年目を迎えます。

なかなか目に見える結果をお見せできずにおりますが、少しでも早く業界内外にその成果を発表できればと思っております。そして二〇二〇年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催となるにはなりません。

ボウリング場があるだけでは、そのようなスペースにはなりません。

ボウリング場があるだけでは、そのようなスペースにはなりません。

業界の団結をさらに強め、ボウリングの楽しさを広めよう



昨年2月、桑田佳祐さんがホストとなり、新しいボウリング大会の企画である「KUWATA CUP 2019」みんなのボウリング大会が渋谷のヒカリエの特設会場で盛大に開催されました。テレビにも大きく取り上げられ、広くボウリングを再認識していただけたものとして、ボウリング業界全体が元気になりました。

今年も同じ2月に「KUWATA CUP 2020」みんなのボウリング大会が予定されています。ボウリングの楽しさが広まることを大きく期待されています。

新しい関東ブロック長は群馬県の上山幸雄理事長が就任され、常任理事会にて常任理事として承認されました。よろしくお祈りいたします。

続いて、群馬県連盟理事長で新関東ブロック長の上山幸雄氏の常任理事就任が満場一致で承認されました。

運営問題検討委員会からは、2020年の全国大会については、東京オリンピック・パラリンピックによる交通関連および宿泊所関連の混乱が予想されることから、11月の

第95回全国常任理事会が第47回全日本ボウリング選手権大会の前日11月15日に稲沢グランドホテル会議室で、白石理事長をはじめ全国の常任理事出席を得て開催されました。

明けておめでとやういひな希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。



旧年中はNBFの活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

リング業界に昨年もNBFの存在の大きさをアピールすることができました。これも会員皆様のボウリングに対する熱い思いのおかげであると感謝しております。本当にありがとうございます。

杯「nanaco」に迎えた「nanaco」も盛大に開催されました。

また、NBFの収支改善のため、本年よりパーフェクトの褒賞については本部大会での達成者に贈呈することとして、それ以外の大会で達成者はバッチとワッペンを贈呈と決定しました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

日本ボウラーズ連盟 理事長 白石 雅俊

日本ボウリング機構(JBO)は、業界全体が一体となった活動として動き始めています。JBOの正式主催大会である株式会社セブンフィナンシャルサービスを冠スポンサーに迎えた「nanaco」杯「nanaco」に迎えた「nanaco」も盛大に開催されました。

また、NBFの収支改善のため、本年よりパーフェクトの褒賞については本部大会での達成者に贈呈することとして、それ以外の大会で達成者はバッチとワッペンを贈呈と決定しました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

また、会費の値上げに対しては、2019年度の決算報告をみて、次の常任理事会で検討することとなりました。

昨年に引き続き今年もよろしくお祈りします

役員一同

理事長 白石 雅俊

副理事長 戸田 幸一郎

理事 坂田 正祐

泉 成光

横山 雄司

山崎 義夫

上山 幸雄

大竹 勝宜

加藤 広寿

長坂 貴久

有岡 徳昭

川崎 益暎

下川 康行

川口 誠一

高橋 啓介

中村 慧

石附 和久

上岡 千恵

事務局

第47回 全日本ボウリング選手権大会成績

日時：2019年11月16・17日
会場：愛知県/福沢グランドボウル

順位	氏名	連盟	スコア
◆男子の部 (1人15Gトータルピン)			
優勝	片山 寛史	(北海道)	3,247
第2位	佐藤 晃一	(東京)	3,176
第3位	中根 啓貴	(愛知)	3,170
第4位	保木 慎吾	(北海道)	3,163
第5位	佐々木 銀次	(栃木)	3,122
H/G	下田 将平	(愛知)	289
H/S	佐藤 俊之	(東京)	739
◆女子の部 (1人15Gトータルピン)			
優勝	多賀谷 優	(群馬)	3,064
第2位	國本ひとみ	(神奈川)	3,012
第3位	保木 絵理	(北海道)	2,957
第4位	谷口 雅美	(大阪)	2,951
第5位	新津 七海	(北海道)	2,927
H/G	扇子美由紀	(北海道)	269
H/S	三上 忍	(北海道)	667

参加連盟数 44 連盟
参加人数：男子 468名 / 女子 167名

片山選手、多賀谷選手が優勝

第47回 全日本ボウリング選手権大会



優勝の片山選手
使用ボール：ウェブパール

予選第3シリーズで苦戦したが、準決勝からは初日のライン取りで対応できた。初出場が緊張していたがイメージをしないように注意していた。実績のある選手たちの中で優勝できたのは大きな自信につながると思う。



優勝の多賀谷選手
使用ボール：インテルパール

予選はトップ通過だったが最後のシリーズで合わせきれずに苦戦したので、準決勝へのプレッシャーが大きかった。男子の使用レーンでの準決勝・決勝もアジャストに苦戦したが、とにかく自分の投球に集中した。所属のドリームスタジアム太田での練習が実を結んだ。

男女ともハイレベルな接戦

2019年の最後の全国大会である第47回全日本ボウリング選手権大会が愛知県の福沢グランドボウルで637名の選手を迎え、11月16日・17日に開催された。予選9G、準決勝3G、決勝3Gの長丁場に臨み、決勝戦での黒ワッペンと優勝の栄冠を目指して大会が始まった。難解なレーンコンディションでスベアメイクに苦戦する選手が多く、シリーズ毎の順位が浮き沈みが多く見られた。

【男子の部】
予選1位は5G目で9
コイルからの286でシリーズ
733を記録した富山県の若林
秀則選手が9G1916
とした。2位には山梨県の
貴島陽選手がわずかに12ピン
差で後に続く。3位には三
重県の中西俊裕選手が18
99の僅差で続く。4位の
北海道・片山寛史選手が1
898、5位の北海道・保

木慎吾選手が1896と上
位5名が20ピンの中にひし
めく大混戦で準決勝へ進ん
だ。さらに下位には全日本
優勝経験者が上位進出を狙
う、気を緩められない展開
となった。
準決勝では4位からス
タートの片山選手が3G
705と大きくスコアを伸ばし
12G2603で1位を奪
取。大会初出場の勢いで優
勝まで突き抜けた。2位

には予選6位から順位を上
げた昨年の優勝者、愛知
県の中根啓貴選手。選手権
の勝ち方を熟知している選
手がギアを上げ、56ピン差
で続く。3位には2位と2
ピン差で保木選手が続き、
女子の保木選手との夫婦で
のダブル優勝を目指す。
決勝に入る上位陣で意
識しあうのなかなかスコ
アが伸びてこない。その中
で準決勝までの順位を保っ
た、片山選手が見事に15G
3247で大会初出場初優
勝を飾った。中根選手は決
勝3G623と片山選手を追
い切れず、3位に順位を落
とすも15G3170で入
賞は確保し、優勝経験者の
面目を保った。変わって準
優勝を勝ち取ったのは予選
11位、準決勝7位とひたひ
たと順位を上げ、決勝戦で
は進出選手で最高の3G
688を記録し、15G317
6とした64歳の誕生日を翌
週に控えた東京都の佐藤晃
一選手。4位には順位を下
げたものの保木選手が15G
3163で入賞し、準優勝
から4位までは13ピン差の
僅差での決着となった。

【女子の部】
予選を1位通過したのは
群馬県の多賀谷優選手。2
013年の第41回で優勝
し、その後も何度も決勝戦
へ進んでいる。9G18
84で2位以下に50ピン以
上の差をつけた。2位には
神奈川の國本ひとみ選手が
1832で続き、準決勝
決勝での逆転を目指す。3
位には北海道の三上忍選手
が1813で追う。Ave
200以上は上位3名のみとス
コアメイクの難しさを物
語っている。
準決勝でも多賀谷選手は
勢いを止めず3G622とス
コアを伸ばし、12G25
06で1位を維持し2度目
の優勝へ突き進む。2位の
國本選手も3G607と若干
離されるも67ピン差で逆転
の目を残し決勝へ進んだ。
前年度優勝の大坂府の谷口
雅美選手が予選6位から準
決勝3位に順位を上げ、多
賀谷選手と90ピン差で連覇
に望みをつなぐ。
決勝では各選手がスコア
を伸ばせず、決勝進出10人
の中で600UPは一人だけ
だった。多賀谷選手も苦戦
したが、今までのピン差が効
いて15G3064で6年
ぶりの優勝を果たした。國
本選手は追い上げきれずも
準優勝は維持した。予選15
位・準決勝8位と順位を上
げて3位に滑り込んだのは
北海道の保木絵理選手。3
年前の全日本選手権優勝者
が意地を見せた。谷口選手
は順位を落とし4位でフィ
ニッシュ。5位には若干16
歳の北海道の新津七海選手
が入賞した。



男子上位入賞選手



女子上位入賞選手



男子準優勝の佐藤選手



女子準優勝の國本選手

BOWLING magazine

ボウリング・マガジン 1月号/本体845円+税

REPORT NBF第47回全日本ボウリング選手権大会

男子 **片山寛史が初出場V**
女子 **多賀谷優が6年ぶりの返り咲き**

TOURNAMENT

- ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2019
グランドチャンピオンシップファイナル
- JPBA第42回STORMジャパンオープン
- JPBA全卸連プレゼント☆SSSカップ

ボウリング・マガジンは毎月12日発売です!

送料無料・特別定価の差額サービス▶▶▶
お得な年間定期購読を、ぜひご利用下さい



特集 **姫路麗プロ**
V20インタビュー&
投球フォーム解説

P★TALK 名和 秋

好評連載

- ◎川添奨太のアメリカ武者修行/川添奨太
- ◎今すぐ役立つ実践ボール講座/日坂義人
- ◎メンタルで勝つ方法/中谷彰宏
- ◎記憶の宝箱/岩上太郎
- ◎アジャスティングアカデミー/宮田哲郎
- ◎ボウリングQ&A/
有泉大祐、田中康男、丸山高史、
野沢秀雄 ほか

購読料金 1年間(12冊)▶ 11,160円(税込)

年間定期購読のご案内

定期購読のお申し込みは

電話で ☎0120-413490 FAXで ☎0120-594134
HPから <https://www.bbm-japan.com/subscribe>

第47回全日本ダブルス選手権成績

日時：2019年2月16・17日
会場：大阪府・牧野公園ボウル

順位	氏名	連盟	トータル
〈男子〉			
優勝	北原 孝志・中根 啓貴 (愛知)		6803
第2位	藤田 貢・大津 欣也 (北海道)		6643
第3位	山中 涼・小原 央士 (東京)		6620
第4位	國本 省次・久保田 武 (神奈川)		6568
第5位	古荘 豊・鈴木 昭 (大阪)		6566
〈女子〉			
優勝	保木 絵理・水野由希子 (北海道)		6049
第2位	上地 優子・古堅 葉月 (沖縄)		6011
第3位	大島 晶子・萩原まゆみ (神奈川)		5934
第4位	谷口 雅美・安田 豊子 (大阪)		5926
第5位	片岡 亜紀・大屋 真子 (愛知)		5899



男子優勝チーム 中根啓貴・北原孝志選手
女子優勝チーム 水野由希子・保木絵理選手

準決勝戦は一進一退でゲームが進む中、安定したスコアを打ち続けた保木・水野チームが最終ゲームで逆転見事リベンジ成功で大会優勝を成し遂げた。

予選をトップ通過したのは愛知の中根啓貴・北原孝志チーム。実力者同士のチームは大会HGとなる528を含む18G4040と2位以下に100ピン近い差をつけた。2位には東京の山中涼・小原央士チームが91ピン差で続き、準決勝でも1位2位の順位は変わらず5393と5293の丁度100ピン差で決勝へ進んだ。

決勝に入っても中根・北原チームの勢いは止まらず、1410を記録し、2位以下を突き放して6803で予選から1位を譲らず完全優勝を成し遂げた。

第47回全日本ダブルス

2019年度 全国大会を振り返る

2019年度の全国大会は、7都道府県8会場で8大会が開催され、激しいバトルが繰り広げられた。

19オールジャパンフェスティバル

日時：2019年4月20・21日
会場：福島県・ボウリアピア郡山

順位	氏名	連盟	スコア
◆男子の部			
優勝	樋口 慎一 (埼玉)		2894
第2位	津波 政秀 (沖縄)		2854
第3位	豊田 久智 (埼玉)		2819
第4位	遠藤 芳典 (福島)		2801
第5位	星 及川 (茨城)		2767
H/G	樋口 次正 (福島)		298
H/S	樋口 慎一 (埼玉)		298
◆女子の部			
優勝	美智子 (大阪)		2994
第2位	谷村 規子 (東京)		2933
第3位	渡辺 規子 (茨城)		2929
第4位	浅見 美智子 (東京)		2881
第5位	宮宮 智代 (北海道)		2881
H/G	樋口 美智子 (神奈川)		278
H/S	樋口 美智子 (大阪)		697

予選トップ通過は埼玉の樋口選手(HCC)902で決勝へ進んだ。

決勝に入ると、下位から強烈な追い上げを見せる選手、上位でもスコアを崩す選手と順位が大きく入れ替わる。

予選をトップ通過したのは東京の福村茂美選手(HCC68)。80シリーズを含む9G2258ピンで2位に70ピン近くの差をつけた。2位には若手11歳の大阪の樋口美智子選手(HCC55)。

決勝戦では福村・樋口・渡辺の優勝争いとなり、ゲームごとに順位が入れ替わる。

最後に優勝をつかみ取ったのは樋口選手。最終ゲームでトップに立ち、12G2994で後続を引き離れた。

東日本選手権成績

日時：2019年5月18・19日
会場：岩手県・盛岡スターレーン

順位	氏名	連盟	スコア
〈男子の部〉 出場：168名			
優勝	和慎 (東京)		3354
第2位	幸一 (埼玉)		3305
第3位	和慎 (東京)		3291
第4位	憲 (茨城)		3286
第5位	二幸 (東京)		3265
H/G	和幸 (東京)		300
H/S	和幸 (東京)		770
〈女子の部〉 出場：56名			
優勝	田津 (岩手)		3011
第2位	津田 (北海道)		2900
第3位	津田 (北海道)		2834
第4位	津田 (北海道)		2828
第5位	津田 (北海道)		2815
H/G	津田 (北海道)		257
H/S	津田 (北海道)		649

第45回東・第46回西日本選手権

【東日本選手権】
準決勝でも飯村選手が3G691とスコアを伸ばし、2位との差を29ピンに広げ決勝を迎える。

決勝に入ると順位が大きく変わる。トップを守ってきた飯村選手に急ブレーキがかかり、3G590としてしまう。トータルでも15G3286とし4位で大会を終えた。変わって大きくスコアを伸ばし優勝したのは坂本選手。3G706、15G3054とし決勝進出16名中9名がレフティの大会で並みいる選手を抑え、大会初優勝を飾った。

【西日本選手権】
準決勝に入ると谷口選手がスコアを崩す。3G539と大きくスコアを伸ばし、2位との差を29ピンに広げ決勝を迎える。

決勝での再逆転を狙う。優勝したのは飯村選手が入り準決勝での不振を脱し、持ち直し、15G3311で見事連覇を成し遂げた。西日本ボウリング選手権での女子選手の連覇は9年ぶりだった。

準決勝ではお互いを意識しあったのか上位陣が予選程のスコアの伸びを見せられない。それでも小林選手は1

西日本選手権成績

日時：2019年5月11・12日
会場：香川県・坂出中央ボウル

順位	氏名	連盟	トータル
〈男子の部〉 出場：163名			
優勝	小林 剛 (愛知)		3523
第2位	小北 三 (大阪)		3416
第3位	鈴木 博 (大阪)		3348
第4位	辻中 越 (大阪)		3328
第5位	高木 真 (大阪)		3248
H/G	小高 真 (大阪)		279
H/S	小林 剛 (愛知)		279
〈女子の部〉 出場：61名			
優勝	谷口 雅美 (大阪)		3111
第2位	松本 美智子 (大阪)		3031
第3位	松本 美智子 (大阪)		2988
第4位	松本 美智子 (大阪)		2977
第5位	松本 美智子 (大阪)		2932
H/G	松本 美智子 (大阪)		279
H/S	松本 美智子 (大阪)		727

第45回全日本オーバー70ダブルス成績

日時：2019年10月19・20日
会場：長野県・ヤングファラオ

順位	氏名	連盟	スコア
優勝	小林 美智子・志郎 (東京)		
第2位	松本 君代・宮地 優 (大阪)		
第3位	栗倉 章・越 弘 (石川)		
第4位	菅瀬 久智・原田 優 (静岡)		
第5位	尾形 利一・鶴岡 英二 (千葉)		
第6位	高江洲 栄子・高江洲 正広 (東京)		
第7位	山本 朝子・山本 剛 (埼玉)		
第8位	水口 洋子・戸松 宗明 (岐阜)		
H/G	津波 政秀・大見 謝 翔 (沖縄)		487
H/S	菅瀬 久智・原田 優 (静岡)		1329

第45回 オーバー70ダブルス

松本・宮地組対小林・志郎組の対戦はお互いに初めての決勝進出。決勝戦のみ2Gトータルでの勝敗となり、HC差が重くのしかかる。互いのチームの男性陣には固さが見られたものの第1ゲームは393・391で松本・宮地組が上回るものの2G目までHCを加算するとまだ小林・志郎組が上回る。小林組が上回るの2Gではなかった。



全日本オーバー70W 小林・志郎選手

第47回全日本トリオ

松永華穂・谷口美優・下川勝広チーム(大阪・HC02)対玉の山本朝子・三浦明美・山本剛チーム(HC07)と七野亮輔・北本一樹・丹野英樹チーム(大阪・HC02)対長野の松尾均・塩沢博昭・林佐智江チーム(HC7)となった。

大阪府連対関東ペアの対決となった。689・686、686・529の結果で山本・三浦・山本チームが決勝戦へ進んだ。トナメントが僅差での勝利が多かったよう



全日本トリオフェスティバル優勝者 松尾・塩沢・林選手

第47回 全日本トリオフェスティバル成績

日時：2019年9月21・22日
会場：愛知県・星ヶ丘ボウル

順位	氏名	連盟	トータル
優勝	松尾 均・塩沢 博昭・林 佐智江 (長野)		
2位	山本 朝子・三浦 明恵・山本 剛 (埼玉)		
3位	松永 華穂・谷口 美優・下川 勝広 (大阪)		
4位	七野 亮輔・北本 一樹・丹野 秀樹 (大阪)		
5位	宮村由紀子・三上真佐幸・小田 輝雄 (滋賀)		
6位	近久 弘貴・菱川 量子・藪中 茂弥 (和歌山)		
7位	菅瀬 久智・小野 貴志・藤田 全弘 (静岡)		
8位	松田 真伍・朝長 伸治・上之原 一生 (京都)		
H/G	山中 涼・坂牧 賢・濱出 恵一 (東京)		706
H/S	藤居 慶一・小見 潤典子・柿 沼孝由 (神奈川)		706
H/S	菅瀬 久智・小野 貴志・藤田 全弘 (静岡)		2057

全日本シニア成績

日時：2019年7月20・21日
会場：福岡県・仲原Jボウル

順位	氏名	連盟	スコア
〈男子の部〉			
優勝	豊田 正和 (埼玉)		3557
2位	田田 年彦 (岡山)		3457
3位	太田 清高 (愛知)		3408
4位	橋本 篤篤 (奈良)		3394
5位	谷口 満 (愛知)		3383
H/G	西本 英一 (和歌山)		300
H/S	太田 和彦 (岡山)		769
〈女子の部〉			
優勝	二宮 明美 (千葉)		3181
2位	那須 須子 (福岡)		3143
3位	原 美千枝 (埼玉)		3087
4位	菅 美ひ (東京)		3077
5位	廣瀬 徳枝 (香川)		3059
H/G	澤田 真由美 (北海道)		279
H/S	澤田 真由美 (北海道)		761

第47回 シニア選手権

決勝戦へトップで駒を進めたのは太田選手。2位と22ピン差と差は詰まったがなんとこのまま逃げ切りを図りたい。

2位通過の豊田選手も順位を守り、差を詰めた状態で決勝を迎え、虎視眈々と優勝を狙う。

優勝は2位発進の豊田選手。決勝でもひょうひょうと投げた姿にはボウリング

歴50年の経験が冴っていた。決勝1G目で逆転するところまで、2位の豊田選手が下位を大きく突き放し12G2628で決勝へ進み優勝へと大きく近づいた。

決勝に入ると二宮選手がスコアを伸ばせず大きかったリードが2G終了時点で50ピン程まで減ってしまっ最終ゲームも息をのむ展開が続くがなんとこの後続を交わし初優勝。

新春雑感

元号が令和となって初めてのお正月、ボウラーの皆様はどのようなお過ごしでしたか。年明け早々、中東では真実の空気に包まれているようですが、少なくとも我が国は、平和な年であってほしいものです。

ところで30年余りの平成の時代を振り返るとき、真っ先に思い浮かぶのは「デジタル」という言葉です。携帯電話が急速に普及したのが1990年代後半。さらに2000年代後半に入るとスマートフォンが登場すると持ち運べるパソコンとして多くの人が手放さなくなりました。

サラリーマンが電車内で新聞を広げていた朝の風景は今や昔。いつしか若男女を問わず、スマホの画面を見詰めているのが当たり前の光景になりました。学生にとって携帯電話料金が高すぎるのと同じように、若者のボウリング離れの一因にも挙げられました。

今年には、これまでと桁違いの大容量・高速通信が可能になる5Gの時代がやってきます。それによって世の中、何がどう変わるのかは定かではありませんが、例えば車の運転の自動化が、令和の時代に実現するかもしれません。

昭和生まれのアナログ世代

には、そうした変化の波に乗るのはなかなか骨が折れます。昭和の時代に一大アームを巻き起こしたボウリングもまた、新しい波から取り残されつつあるのかもしれない。1980年代に、スコアの計算から入力まで自動化されたオートマチックスコアラーの登場以来、大きなイノベーションは起こっていません。

今年にはオリンピックイヤーでもあります。昨年のラグビーワールドカップに引き続き、国内は大きな興奮と熱気に包まれています。ボウリングにもなにか、いい相乗効果がないものかと、秘かに期待する部分もあります。手がこまぬいては何か起るはずがありません。競走も起るはずありません。競走も起るはずありません。競走も起るはずありません。

技人口の増加やテレビ中継を意識して、時間短縮や、競技ルールの改正に取り組んでいます。そういう面ではボウリングはささか立ち遅れているのも事実でしょう。時代は即した大胆な変革ができるかどうか、令和の時代にも多くの人が親しまれるボウリングが生き残っていくかどうかの試金石の気がします。

(Y.O)

2020年

全国及びブロック 記念競技会スケジュール



月日	大会名	開催場所
2月8・9日	2020年NBF関西ブロックダブルス記念大会 (優勝チームは2021年の全日本ダブルスへ推薦)	大阪府 牧野松園ボウル
2月15・16日	2020年NBF関東ブロックダブルス記念大会 (優勝チームは2021年の全日本ダブルスへ推薦)	東京都 品川プリンスホテルBC
4月5・6日	九州ブロックボウリングフェスティバル	福岡県 ユースボウル久留米
4月12日	2020年中国ブロックダブルス記念大会	広島県 キャッスルボウル福山
4月19日	2020年関西ブロックオールジャパン記念大会 (優勝者は2021年のオールジャパンBFへ推薦)	兵庫県 エリアドゥ三田
5月10日	2020年関西ブロック西日本記念大会 (優勝者は2021年の西日本選手権へ推薦)	滋賀県 栗東ボウリングジム
5月16・17日	2020年東北ブロック東日本記念大会 (優勝者は2021年の東日本選手権へ推薦)	新潟県 ラウンドワン新潟店
5月16・17日	2020年関東ブロック東日本記念大会 (優勝者は2021年の東日本選手権へ推薦)	群馬県 ドリームスタジアム太田
6月7日	NBF 愛知結成記念大会	愛知県 稲沢グランドボウル
7月18・19日	2020年東北ブロックシニア記念大会 (優勝者は2021年のオールジャパンBFへ推薦)	青森県 ゆりの木ボウル
7月19日	2020年関西ブロックシニア記念大会 (優勝者は2021年のオールジャパンBFへ推薦)	大阪府 牧野松園ボウル
7月19日	中国・四国・九州親善大会	福岡県 仲原Jボウル
9月19・20日	2020年東北ブロックトリオ記念大会 (優勝チームは2021年のトリオBFへ推薦)	岩手県 盛岡スターレーン
9月19・20日	2020年関東ブロックトリオ記念大会 (優勝チームは2021年のトリオBFへ推薦)	長野県 ヤングファラオ
9月19・20日	2020年関西ブロックトリオ記念大会 (優勝チームは2021年のトリオBFへ推薦)	和歌山県 和歌山グランドボウル
10月9・10日	ROUND 1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2020 NBF 決勝大会	東京都 ROUND1 南砂店
10月17・18日	2020年関東ブロックオーバー70 記念大会 (優勝チームは2021年のオーバー70BFへ推薦)	東京都 品川プリンスホテルBC
10月24・25日	2020年関西ブロックオーバー70 記念大会 (優勝チームは2021年のオーバー70BFへ推薦)	大阪府 牧野松園ボウル
11月7日	ROUND 1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2020 FINAL	東京都 ROUND1 南砂店
11月21・22日	第48回全日本ボウリング選手権大会	愛知県 稲沢グランドボウル

ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2020 開催



▶ 全部門優勝者

J.P.B.A.J.B.C・NBFの3団体は今年も誰でも参加できる本場のオープントーナメントとして株式会社ラウンドワン特別協賛のもと、プロ・アマ問わず全てのボウラーが参加でき、真の王者を決定する為の競技大会を開催する運びとなりました。

CHAMPIONSHIP BOWLING 2020と銘打ちNBFでは前回と同回数の83回の予選会とそれぞれの予選会から勝ち上がった選手での決勝大会の開催。

今回は新たな試みとしてすでにROUND1で運用されているROUND1 LIVEを使い、全国の店舗を繋いでのオンライン予選会の開催を予定しています。

オンライン予選会は全8大会を予定しており、ブロックでまとめた大会と西日本・東日本・全国と大きなカテゴリーでも開催予定です。

システム対応していない店舗を除く最大で97店舗を繋いでの開催

12月よりすでに各予選会によっては申込が開始され、複数会場への申込も立ちます。

この大会のみの一時会員登録も可能とし、現在NBF会員ではない選手にも広く予選会への門戸を開いています。

部門もレギュラー・シニア・グラウンドシニアに分かれ、それぞれ男女部門があります。

年齢は2020年1月1日時点での年齢とし、シニアは50歳以上、グラウンドシニアは65歳以上が参加条件となります。

も可能です。

そして決勝大会の上位者はNBF代表選手として最終決戦のFINALでJ.P.B.A.J.B.Cの代表選手と戦い国内最強ボウラーの座を目指します。

前回大会では残念ながらNBF代表選手は全部門通じて入賞に絡むことができませんでした。



▲ 男子女子シニア・グラウンドシニア優勝者



▲ 男子女子レギュラー優勝者

NBF 決勝大会 開催日/2020年10月9日・10日
会場/ラウンドワン南砂店

FINAL 開催日/2020年11月7日
会場/ラウンドワン南砂店

連盟・支部往来

理事長交代
▽長野県連 新理事長に山口敏道氏が就任しました

事務局だより

●費用の手続き
会費・ゲーム登録費・ボール検量証・ワッペンなどについては申請及び発注と同時に費用の送金をお願いします。

●アベレージ登録
3月末、6月末、9月末、12月末の各アベレージの締切りに提出漏れが無いよう、支部連盟で確認してください。

●エントリーは早目に
毎年新年号のニュースでお願ひしておりますが大会へのエントリーは早目に送付して下さい。特に宿泊の場合は、主管県連より送付される申込書に誤りがないよう記入して返送して下さい。

●競技登録の事前申請
支部活動におけるNBF本部公認のリーグ戦、トーナメント、大会などの競技登録は、出来るだけ早目に申請書を本部宛に提出するようにして下さい。

●大会記録の登録
各支部で開催しているリーグ戦、トーナメントなどの本部への記録登録は、終了後2週間以内に報告書を提出するようにお願い致します。全国大会への参加資格及びハンディキャップ算出などに関係してきますので、提出期限の厳守をお願いします。

ROTO GRIP OWN IT.

UFO™ ユーフォー

E.T.™ Core搭載!

バランスホール効果を持つ画期的コア

Hi-SPORTS 株式会社 ハイ・スポーツ社 hi-sp.co.jp

メーカー希望小売価格 ¥52,000 (税別)